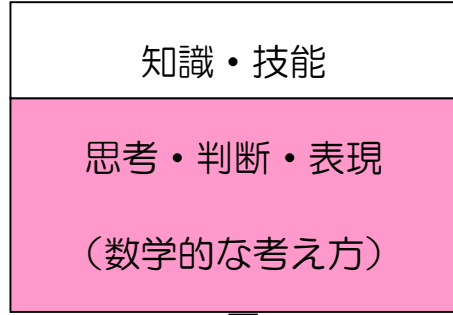


教材をどう捉えるか。

○教材は、



授業の二層構造化

表層	教・量・結果・基礎	知識・技能
深層	育・質・原理・基本	思考・判断・表現 (数学的な考え方)

1時間の授業の中で「表層」と「深層」を同時達成させていく。すなわち、「数学的な考え方」に支えられた「知識・技能」として指導していく。

1時間の指導目標を2種立てる。

- ①表層の目標
- ②深層の目標

これを立てるのがむずかしい！

教材研究しかない！

算数指導の問題点

1. 教材内容は、ずっと昔から変わっていない。(先生が、子供であったころから変わっていない。)
2. 小学校の算数ができない先生は、いない。

「できる=わかる=教えられる」と考えてしまう。

だから、先生は、**教材をよく理解して教えられると誤解**している。

※先生の教材研究が一番不足しているのは、算数である。

しかし、授業参観で一番多いのは、算数である。

おまけ